

# 『千葉県における生活排水処理の現状と今後』

(平成30年度版)

公益財団法人 日本環境整備教育センター  
理事 国安 克彦

## 【 目 次 】

§ 1. 社会的背景の変化	1
(1) はじめに	1
(2) 下水道事業をめぐる最近の動き	11
(3) 平成30年1月1日現在における「人口、人口動態及び世帯数」	36
(4) 平成27年国勢調査の人口等基本集計結果	46
(5) 合計特殊出生率	60
(6) 将来推計人口	63
(7) 自治体戦略2040構想研究会について	82
(8) コンパクト・プラス・ネットワーク	91
(9) 公共施設等の適正管理の推進	107
§ 2. 生活排水処理施設の整備状況と今後の展開	114
(1) 生活排水処理施設の種類と整備状況	114
(2) 単独処理浄化槽人口と汲み取り人口	127
(3) 将来推計人口とD I D人口に対する整備状況	131
(4) 都道府県構想の見直し状況	150
§ 3. 下水道事業が市町村財政に及ぼす影響	155
(1) 集合処理施設における処理区域内人口と総事業費の関係	158
(2) 集合処理施設の整備状況と処理区域内人口等の推移	160
(3) 集合処理施設整備事業における地方債現在高の推移	174
(4) 下水道会計への操出	176
(5) 経費回収率など	184
(6) 28年度経営比較分析表における全体総括	192
(7) 下水道メンテナンス年報(平成28年度)	210
(8) 下水道事業の抜本的な改革等の取組状況	216
(9) 水道料金の事業主体別の将来予測値(破綻しないため)等	221
§ 4. 市町村の財政状況	224
(1) 主な財政指標	230
(2) 第三セクター等について	245
(3) 生活保護費等について	251
(4) 市町村別合併算定替による普通交付税について	260